

【資料集】

自由記述の回答。一問に複数の回答があった際にはカテゴリに分けて集計。()内数字は同じ回答があった場合の数。(※)集計の際に加筆。

Q9 ご近所付き合いがあって助かったことはどんなことですか。具体的にご記入ください。

(近所同士助け合っている)36

- ・つきあいのあった人が元気な時、家の前に積った雪かきをお互いに助け合って作業してた。
- ・雪かき作業
- ・あまりご近所とのつながりが無いので・・・ご近所のみなさん雪かき頑張っている人がいたなあ
- ・雪かき。
- ・雪かきをしなければならぬ時協力して出来たから
- ・大雪の日に皆なで力を合わせて雪かきをした
- ・大雪が降った時に近隣の方が総出で雪かきをしてくれた
- ・退院後の食品の買い物を近所の方に手伝って戴いた。
- ・通院等でお世話になったことがある。
- ・病気の際に、お見舞いにお料理を頂いた。
- ・体調不良の時ゴミ出しのケースの出し入れをしてもらったこと。
- ・体調不良のときに気遣って食料を頂いた
- ・買物頼んだ事。
- ・困った時助けてもらう。買物等 通院の時
- ・病院に車で連れて行ってもらったことがある。
- ・家の前の清掃
- ・細かなことで助けてもらっている。(掃除など)
- ・耳が不自由なので団地の当番に当たっても参加出来ず同時期に入居された方に参加していただきました。
- ・新聞をドアの中に押し込んでもらう
- ・当番の交代をしていただいた。
- ・昔は調味料の貸し借りとかあった
- ・(困ったら言って下さい)とか(車を使う時はどうぞ)とか言われているが今の所はないが、有難いことです。
- ・団地で役員などを決めなければならない時、古くからいらっしゃる方に相談して 助言してもらい助かった事がありました。
- ・近所の高齢者の方(認知症)など、市(包括)に紹介したり常に声かけをしています。
- ・遊歩道の事や地域の事を一緒に相談したり、市に連絡して、解決するなど1人では、なかなかできない。
- ・雨が降ってきた時連絡してくれた
- ・カギのかけ忘れチェックをもらった。
- ・団地の当番を交代してもらった
- ・階段当番のとき、次年度の役割を各戸に決めてもらうとき、過去のデータを見てもよくわからずコンピューターの上手な方に教えていただき、階段当番の仕事をやり終えた
- ・階段の掃除をしてくれて、助かる。
- ・マンションの前の木を伐採するときにお手伝いをしてもらえた。
- ・多世代同居の家庭が周りに多いので何かと気付いてくれます。
- ・駐車場をお借りした

- ・玄関前で落としたお財布を、気付いて届けてくれた。
- ・庭の水やり。

(情報交換ができる)34

- ・引越して来たばかりでゴミ出し方など すみませんそのくらいです。
- ・ゴミ収集の事で相談になりました
- ・ゴミを不法投棄する方の対策を一緒に考えてくださったから
- ・ゴミの分別
- ・困ったこと(道路不備、ごみ問題)などを話すことで情報を相互に教えあい、市役所へ連絡している。
- ・最近では庭木のお手入れ業者を教えてもらったり
- ・植木等の処理についてアドバイスをもらった。
- ・庭木の始床
- ・家の屋根代替工事(コンクリート→鉄板瓦棒ぶき)雨漏りで困ったとき
- ・階段当番の日を教えてくれた。
- ・具体的な個人として助けてもらった訳ではないが、情報共有や近所の方の事故等をご近所と相談して動くことが出来た。
- ・スーパーや道端でもお声をかければ情報が得られます。
- ・西武のシルバーパスの事など情報をもらった(他府県からの転居の為知らなかった)
- ・滝山での生活も半世紀余りになりこの地域に住むことが日常となっています。隣近所同志で声をかけ合い生活しています。災害におそわれたことがない地域なので、その時に対応はいかになすべきか案ずるところです。
- ・ご近所の方の近況を教えてもらった。
- ・マイナンバーカードの書き方など
- ・うっかり忘れていたこと(高圧洗浄の日取り)を教えてくれた。
- ・管理組合のお知らせ等内容が理解できない場合に情報確認ができます。
- ・集合住宅のため、ルールや規則等、古くからいる方に教えていただいた。
- ・市の補助金や年金などの情報を早目に知らせてくれて助かった。
- ・ガスブレーカーの取扱いについてアドバイスいただいた。(地震でストップした際)
- ・色々な情報交換など
- ・子供が学校を休んだ時に、隣の家の同級生が学校から書類を持ってきてくれた。
- ・ご近所との情報が共有できる
- ・不明な事など聞きに行きに行って教えてもらった
- ・ご近所の方の消息情報
- ・転居してきた当時、近所の病院や買い物の場所を教えてもらったお陰でご近所とのつき合いが程良くて助かっている
- ・近所に消息不明あるいは行方不明の所帯が出たことがあったが、不明者が連絡をしていた方があって、その方が所在と状況を知らせてくれたことがあった。
- ・病院の情報
- ・地域の事を色々教えて頂きました。
- ・留守をした時等いろいろ情報をいただく等
- ・留守の間に起きたことや家族のことを気にかけてくれるなど情報共有ができています。
- ・世間での情報

(話し相手がいる)29

- ・お逢いして言葉を交すだけでだけで心が和む
- ・おしゃべり相手がいること
- ・少しお留守番させてもらったり、買ったもの、作りすぎたものをお互いあげたりしてコミュニケーションも取れたり、助かる。
- ・人と話が出来て気持ち的に落ち着く事が出来た
- ・近所の方(5~6人)と道であった時、世間話や健康状態の話をしたりして、地域の一員としての自覚を持って気持ちが落ち着きます。また、コンサート等地域の行事に近所の方と一緒に参加しています。
- ・普段から道ばたで会えば声をかけあっているので寂しさは少ないし何かあっても誰かがいるという安心感になっている。
- ・普段から困ったことない?と声をかけてくれるので、心丈夫です。公明党の方です!まわりにあいさつをし合う方が多いので安心感がある。
- ・食品等おすそ分けを頂くことがある。お茶に誘ってくれたり、相談事、日常事でも話せる。新聞を取っていないので古紙回収時に声をかけてくれる。
- ・いただいた食べ物などを差し上げたり、どうしてよいか分からない時相談したり、おしゃべりしたり、とても助かります。
- ・お土産をいただいたり、こちらからも何かの時はおすそ分けしたりしています。
- ・色々話するし食べ物とかいただいたり
- ・主人が亡くなり心身共に辛い時、食事を届けて下さりお声かけが元気の一步になりました。(仕事をしており普段のおつき合いがなかったのに・・・感謝です)
- ・なにかと声をかけあったり、小さな贈りものをしたり
- ・近隣のお付合が定常的にあり、孤独感を感じることはない。最も大切なことと思っている。
- ・病気をした後など、気遣いの言葉をかけて下さったことなど。
- ・体調の悪いとき、一緒に病院に行ってくれて相談にのってくれる。
- ・震災時、不安を気遣ってくれた
- ・団地暮らしでの悩みがあるときにアドバイスをもらったり、話をよく聞いてもらったりがとても助かっています。
- ・以前父母が健在の頃、会えば挨拶や会話をしてくれ、穏やかな生活を送っていた。
- ・仲良く話が出来ることで大変ありがたく思っています。
- ・お互いの健康について確認できる
- ・時には助言、教えを受けることもあり
- ・話し相手になってくださった。夫が亡くなった時なぐさめてくださった。
- ・介護家族に声がけ。
- ・声をかけて下さる。
- ・お互いに会えばおしゃべり情報交換したり、心配して下さったりと助かっております。
- ・日頃の声かけ等々
- ・日常の挨拶程度だが、何かあれば少しは助けてもらえる印象はある。

(留守時に助け合った)15

- ・(留守時)カラスに荒らされたゴミを片付けてもらえた。
- ・ゴミを出したあと数日不在にしたが、カラスの攻撃に遭いゴミが散乱していたところ、お向かいの方がお掃除して処理してくれた。

- ・不在中にゴミが荒らされた際に片付けて下さった。
- ・可燃ゴミの日にゴミ出し後留守にしていたところ、カラスが散らかしたそう。隣の家の方が、家の前を掃除してくれて教えていただいた。
- ・旅行中のゴミ捨て。
- ・家を留守にする時に鍵を預かってもらう
- ・在宅できない時の対応
- ・1泊以上家をあける時には、お隣さんへ何日には帰宅すると告げている。何かおかしいと思われたら子供の家に連絡して下さると思っている。(今迄何にもなかった)
- ・長期不在のときは連絡して出かけ、安心。
- ・長期間家を空ける場合等、お互い鍵の預け合い等の交流があり助かっている。(人命に係るようなケースは今まではない)
- ・旅行へ出掛ける際、万一の連絡先を伝えてあるので安心して長期の留守が出来た。
- ・隣の方が留守の時等何かあった時連絡してくれる。
- ・留守の際、新聞等、処理してくれた
- ・留守の時、郵便物等預かってくれた
- ・旅行で不在のとき、玄関扉の新聞を押し込んでくれた。

(子どもを見守ってくれる)14

- ・お互いに仕事の時に何かあった場合、連絡が取れたり行き来できる事(となり同士や同じ住宅の中で)←子どもの事で
- ・子どもが、学校帰りにカギがなくて家に入れず、外で待っていた時、話し相手になってくれた
- ・子どもが家の鍵を持っていくのを忘れ家に入れず、その時いつも仲良くしているご近所の家で私が帰るまで待たせていただきました。
- ・子どもが一人で留守番中にさみしくなって泣きながらとなりの家に行かせてもらった時があった。その後、となりの奥さんから電話で連絡がきた。
- ・子どもが怪我をした際、連絡をもらった。
- ・子どもがカギを忘れた時に真向いの方が連絡をくれた。子どもの落とし物を拾って届けてくれた。子どもが泣いて困っていると教えてくれた。
- ・子どもが小さい時に見てもらったりした。防犯の意味でも、家族の顔を知ってもらっているのは、ありがたい。
- ・カギが無くて家に入れなかった子どもを預かってくれた。
- ・親が不在時、子どもの異変に気づいてくれた
- ・親の帰宅が遅くなった時、家に入れない子どもを近所の方が気付いて見守っていてくれた。(今はカギを持たせている)
- ・子どもが学校から帰ってきたがカギがなく、親も不在だった時に隣近所の方に面倒を見てもらえた。
- ・急用ができて遠方の実家に行かなくてはならない時、子どもが小学生だったのに預かってもらえた。
- ・子どもの帰宅時、不在だと連絡をくれて、少しの時間見てくれること
- ・子どもが安心して遊べる

(トラブル発生時に助け合った)14

- ・隣の方が外の水もれなど家の異常を知らせて下さった。
- ・雪の降った寒い朝に水道管の不具合(水もれ)しているのでは？と気づいてもらえた。
- ・自分の家の下水があふれて困っていた時に手伝ってくれた。

- ・下階への水もれの時に手伝ってくれた
- ・水漏れを起こしてしまった時、すぐに気づいて教えに来てくれた等
- ・お隣の土地が買われ境界のくいが曲がっていた事から境界線の問題がおこった時、ご近所の皆さんが折半であるなど(我が家も建てられた方から買ったので建てた当時の事がわからなかった)提言し助けて下さった。
- ・鍵を忘れた時にベランダつたいに入らせてもらった
- ・鍵を忘れて自宅に入れなかった時主人が帰宅するまでおとなりに長居をさせてもらい大変助かりました。
- ・カギを部屋に置いたまま外出してしまい、オートロックのドアが開けられなかったとき、ちょうど出てきた同じアパートの人が開けてくれた。
- ・家の鍵を忘れて家に入ることが出来なかったときにおとなりのご主人がベランダから我が家に入って下さり、玄関の鍵を開けてくれたこと。
- ・道路に捨てられたごみを一緒に片付けたりした。
- ・不審訪問者の折に助けて頂きました。
- ・とりのりが、火災を連絡してくれた。
- ・迷子になった親を連れてきてくれた。

(体調不良時、緊急時に助けてくれた)8

- ・第三子の妊娠中、主人が留守の時に破水し、ご近所のご主人が車でかかりつけの産婦人科に連れて行って下さった。
- ・隣の高齢の方がベランダで転倒されもう一人の方とともに部屋に入り助けた。娘さんが在宅であったが助けられなかったため
- ・子どもの虫垂炎の緊急対応
- ・コロナになった時に食べ物を差し入れてくれた。
- ・ベランダで転倒(大腿骨骨折)したとき、となりと上の階の人が119してくれた。一人だとどうにもならなかった。
- ・家族の介護中、力が必要な時隣の男性に手伝ってもらった
- ・気持ちが悪くなりお電話したらすぐに来てくださり大変心強くお世話になりました。
- ・家族の留守に、高齢の父が外で転んでしまった時に助けて貰い、救急車の手配までして頂いた。
- ・高齢の親が外出時に途中で力尽きてしまった際、家まで送ってくれた。
- ・父が健在の頃、買い物途中動けなくなっている所を、近所の方がみつけて、家まで連れて来て下さった。(近所の方一人では難しく、他の近所の方も応援に呼んで下さった。)

(その他)11

- ・ご近所付き合いは、特別なことがない中でも、大切だと思っている。
- ・転居した家の当番をどうするかなど
- ・近所の定義がよくわからないが、歩いて10分程だったら親しくしている友だちがいる。
- ・いろいろとある(特定できない)
- ・階段ののぼりおりで補助してもらった。押し車を階段下に置くことを快諾してもらった。
- ・昼に在宅の方も多いので防犯になって安心。
- ・具体的なことはありませんが、身障者なので、見守って下さっている感じがします。
- ・防犯の目
- ・足が悪く階段の登り下りが大変です。10世帯のうち3人が悪く杖を付いて歩いています。地震や火災が不安です。

・特にない(2)

Q10 日常生活でお困りのことがあれば、自由にご記入ください。

(自分の健康状態が不安)30

- ・現在のところは健康(高血圧などはあるが)なので、特に困っていることはない。しかし、急に病気になったときなどは不安なので、ご近所つきあいは大切と思っている。
- ・足腰がきかなくなった時、今後が不安
- ・今の所足腰に不自由はないので良く動かし買物にも出掛ける
- ・全くの一人暮らしなら、体調不良のとき本当に困ると思う。
- ・今は外出できますが、足が不自由になったら、買い物、ゴミ出し、通院など、困ることが多く出てくると思う。
- ・適度な運動と散歩をしています
- ・単身生活で急に具合が悪くなった時の心配がある。救急車が呼べて病院に行けるかどうか不安。
- ・今は外出出来ますが、足が不自由になったら買物、ゴミ出し、通院など困ることが多く出てくると思う。
- ・腰が曲がり歩くのがつらい日々だが今はなんとか生活出来ている
- ・団地で3階に住んでいるがこの先階段を3階まで上り下りできなくなるのではないかと不安
- ・歩けなくなったり、耳が遠くなったりと身体に不具合が出た時を考えると不安になる
- ・現在は元気を取り戻して自分の生活は自分で〜と頑張っております。
- ・買い物、散歩を日課とし、毎日1時間歩くことに努力
- ・たまに会った時に挨拶するぐらいで、会わない日が多く、必然的に会話もなく、全く人と話すことのない日が多く、他人から見て自分がどのように(健康、精神)なっているかが分からなく、不安になることもある。
- ・買い物が大変(重い物が運べない)
- ・買物が大変
- ・重い物を運ぶとき
- ・重い物、高い物の移動
- ・郵便物や夕刊などポストまで歩けず、取りに行けない日がある。(体調に波があるため)
- ・ゴミ出しの日に体調不良や力なしの為ゴミが出せず、たまる。
- ・小荷物到着し配達時不在だった時の不在再配達依頼書が最近1階のポストに入れてある。高い階から又降りるのは大変、今まで通り住宅ポストに入れてほしい(電話で再依頼出来る)
- ・私が年中、痛みがあつて、デイサービスもままならない。近くでコーラスとかあればと思う。
- ・身体能力の衰え 思い通りに動けない
- ・息子の世話をしているが(息子と母の私で二人暮らし)ほとんど一人で家で過ごす。コミュニケーションが苦手な一人の方が気楽なのですがそれも良くないと思うが悩むこと多々あります。20年近く家族介護に専念し今は心身共に疲労状態です。
- ・忘れっぽい
- ・足腰が不自由になり、日々の買い物や家事が辛く感じられる。
- ・ひとりでいたときに何かあったら困ります。
- ・避難場所まで行くことができない(歩行困難)
- ・軽度の認知症にかかっている。
- ・コロナワクチン接種翌日39℃位の発熱ふるえの副作用が出た。
- ・冬になると公園や団地等の枯葉が嵐のように舞い降る日が続く時がある、厳しい寒さの日に掃除をすると風邪をひき肺炎になりそうになった。

(自宅の環境に困りごとがある)16

- ・となりの方のタバコの煙が臭くて困る。外のベランダで吸っているようで困っている。
- ・お隣の方が庭で吸っているタバコの煙が臭くてたまりません。
- ・ゴミが強風で飛ばされ自宅前に散乱、我が家のゴミでないのに片付けしなくてはいけない。
- ・お隣の木の枝が我が家の敷地内に入っていて気になるけど言えません。
- ・エレベーターの無い 5 階建団地の為、現在は少々大変でも自力で昇り降りしているが先は不明。その時どうするか思案しています。
- ・エレベーターの無い高層階住まい。入居後に親がだんだん歩けなくなり非常に不便さを感じる。
- ・エレベーター無しの団地 5 階だがこの先階段の昇り降りがきつくなったり支障をきたすようになったらどうするか考えている
- ・エレベーターの無いこと(階段はつらい)
- ・エレベーターが無く、体力が落ちてきた時が心配
- ・エレベーターが無いので高齢になったら不安
- ・4 階まで階段なのがしんどい。
- ・現在は特に感じないが、エレベーターが無い 5 階に住んでおり、足腰が弱ればと思うことがある。
- ・シャッターが重くて困っている
- ・ちょっと犬の飼い方がずさんな気がする。吠える声、鳴き声を近所迷惑にならないように静かにさせて欲しい。前の1、2軒います
- ・ネコ、ハクビシン、イタチ、タヌキがいるのは良いけれども、家の中に侵入してきたら困ると心配、屋根裏に入ってきた時の対策を知りたい
- ・二拠点生活のため不在にしていることが多く、留守中のことが漠然と心配。いつも帰宅して何事もないと分かるとホッとする。

(地域の環境に不安がある)13

- ・たまにある市の放送が全く聴き取れない。
- ・防災放送が聞きとりづらい
- ・市がスピーカーで流す情報の細部が聞きとりにくい。同じ内容を P.S でチェックできるようにしてほしい。
- ・空き巣が多いと聞くので、警察などの巡回があると安心する。
- ・近所に空き家が増えて、防犯上心配。と同時に近所の方と言葉交わす機会が減った。
- ・近所の商店街の空き店舗が多く、不便さや治安悪化が心配。
- ・関係ないことになるかもしれませんが、集合住宅なので、1 階の共同ポストで個人のドアのカギをかけないままの人がいると、長い目で考えて気になります。
- ・外灯がもう少し明るいと良いなあと思います。
- ・滝山小通りの歩道が狭く子どもが通りづらく危険なことがある
- ・歩道側にせり出してかき根がある家があり、歩行困難。
- ・家の前の道が新青梅街道への抜け道になっていてかなりスピードを出す車が多くて怖い。
- ・家の前の歩道のゴミのポイ捨てが多い。
- ・今は大丈夫でも、年を取ると、若い人が近くにいないと不安だと感じる

(近所付き合いが希薄になっている)7

- ・近所で自治会が無いので、災害の時、相互に助け合う気持ちのつながりや相互に協力しあう仕組みが無いのが不安です。
- ・今、現在はさほど困った事はない。しかし、向こう三軒両となりの方とは、挨拶やちょっとしたお話しなど顔

見知りである、困った時にはかけこんでいけると思っている。

・今は特にはないが、近所の世代交替が始まっていて、戸建てが建売住宅に変化していき、これからのお付き合いに心配を感じる。

・隣人との騒音やいやがらせでトラブルになっていて我慢している。災害の時助け合えるとは思えない

・共有部分(階段・階段サイドの掃除)を年のせいにして行わない

・居住棟のコミュニケーションが希薄で、自治会の積極的な行動が望まれる

・一人暮らしの方がいらっしゃるのですが、どのようにすれば応援できるのか??

(家族とのつながりがあるので助かっている)6

・今年の夏から娘が同居してくれるので不安はないし、医院へ行く時は同行してくれて助かっています。一人でバスに乗るのは少々不安です。

・娘と二人(たまたま)で生活しているのでいろいろなことで助かる

・困りごとは全くありません。一人で自由に楽しく毎日を送っている。娘夫婦二人が近くに住んでいるので日を置かず顔を出す。

・子供が毎月様子を見に来てくれる

・今のところ特になしです。友人、子ども達と連絡とれています。

・家事が困っている←息子が毎日きてくれる(嫁週3回)

(家族の事が不安)5

・妻が躁鬱病の為鬱になると家に一人で置いている時心配

・介護の必要な親と同居しているが私が急病で倒れたら親が一人残されて心配

・妹に障害があり、自分に何かあったらどうしよう…と不安に思う。

・介護家族の階段昇降 手助けしてもらえる若い人がいない。

・夫婦共働きのため、子供が家に一人でいるときに災害があった場合、一人で避難せざるを得ない状況が不安です

(友人とのつながりに助けられている)3

・近所ではないが、友だちや親しい方が比較的近く自転車で数分の所にいる為、特に不安はない。

・現在のところは趣味の仲間と逢ったりまたウォーキング等したりして過ごしておりますがよくよく考えれば不安が無いわけではありません。

・別に今のところ不安を感じない。日に一度は買物に出て人に会うようにしているが立ち話をする人に会わなかったら友人に電話をする。

(その他)9

・中学校を給食制度にしてほしい

・近所の人たちが集える場所を提供したい。いつでも welcome のお年寄りがゆっくりできる cafe みたいなものが商店街にあるといいと思います。家以外の居場所を作ってあげて欲しい。行くところがない人達のためにも。

・固定資産税が、空き家でも、はらわなくてはいけないので、お金が少ない。それとマンションの維持費にもお金がかかる。せめて税金だけでも安くしてほしい

・高齢者になると病院に行くことが仕事のように主治医が清瀬市竹丘 3-1-1 国立病院機構東京病院に通院。交通が不便タクシー片道代金@3000 円×2=6000 円。年金生活者で大変困っています～市役所小回り(デマンドくるぶー)をお願いします。

・落合川や黒目川をウォークしたり犬に会ったりしたら声をかけたりしています。

・ネットでの申請が増えてきたがわかりにくく、今後の手続きも不安。

- ・市のボランティアです不用品ありますか？TELにて夕方4時5時。あの手この手変え TEL あること
- ・旅行の時留守宅を頼むのに申し訳なく思う。
- ・万が一の場合何かあったら心配

(今のところ困りごとは無い)60

- ・なし、特になし(42)
- ・今はありません。(9)
- ・今のところ困ってません。困っている人を助けようとは思っている。
- ・特に困ったことはない。
- ・今は、思い当たらないがこの先は分からないので社協の存在を知り、良かったと思う。
- ・別にございませぬ。
- ・今の所はまだ自分で調べたり聞いたり出来るのでなんとかなります。
- ・ほとんど仕事で不在なので今の所はない
- ・家事は一人で出来るので困っている事はない
- ・困っていることはありません。
- ・80才、89才と共に元気なので今の所無し

Q14 避難時の行動について、ご家庭で確認しているものはありますか。ご自由にご記入ください。

(避難場所の確認をしている)96

- ・避難場所の確認(21)
- ・避難場所がどこにあるのか(15)
- ・避難場所(9)
- ・避難場所をどこにするか
- ・割当避難場所の確認
- ・避難場所を決めている
- ・避難場所がどこにあるのか理解しておりませぬ
- ・第九小学校 (17)
- ・何かあったら9小が避難場所であること、家族と待ち合わせの場所にと話している
- ・とりあえず大沼の富士山公園へ。その後9小へ行くことにしています
- ・もしもの場合、近くの学校に集合する事になっている。
- ・避難場所第九小学校の西側
- ・九小か西中。医療的なことはわくわく(※わくわく健康プラザ)。大震災になれば救助が整うまで 3 日程はかかるかと聞いている。とにかくご近所で助けあい、埋もれた人などいないか気を遣い、普段からご近所仲良くどこにどのような人が住んでいるのか知っておくことが大切ですね。
- ・近くの小学校の体育館
- ・避難する時は第9小学校に居る。近所の人達と行動を共にするなど・・・
- ・第九小学校は自宅から近いですし子供達にとってはなじみの母校でもあるので心配はしていない。
- ・小学校が避難場所です。が実際に、中に入ったことが無いのでドヤドヤと入って土足で入ったりの状態なのか、ごった返す様子が目に浮かび身体に自信が無くなってしまふ。
- ・避難場所は承知している。万一の時は小学校の鉄棒のところが家族の集合場所と決めている。
- ・東久留米第9小学校校庭

- ・自宅前に広場があります。横に九小学校が有り少し安心
- ・学校にいればそのまま待機する、わくわく健康プラザに避難する
- ・学校が避難場所になっています。
- ・通信手段がない場合は、西中学校へ避難する事になっている。
- ・滝山グラウンド、杖を使って8分位で行ける。第九小学校→我が家の真裏だから杖を使っても1分位で行ける。我が家は5階建ての1階だから非常時には都合が良いと思う
- ・避難所に集合することになっている
- ・避難場所等、管理組合の指示が不明 自己判断か？
- ・避難場所は近いので特にない。
- ・一時的に避難する場所を家族で共通確認
- ・避難場所へはいくつかのルートを知っておく
- ・避難経路で危険な場所が無いかどうか。
- ・となりの小学校で「水」等は、取りに行くかもと母と話している

(自分の家からどのくらいかかるのか確認している)24

- ・避難場所については徒歩 2 分と恵まれている
- ・第 9 小学校 徒歩 3 分
- ・徒歩 3 分。
- ・近くのグラウンド 3分位
- ・数分(2~3 分位)
- ・小学校かグラウンド2~3分
- ・歩いて 4 分の学校へ避難します
- ・徒歩 5 分位かなあ。
- ・九小が近くにあるので歩いて行ける(5 分)。
- ・避難場所(5分)
- ・徒歩5分
- ・5分くらい
- ・家から5分位の所に避難場所がある
- ・東久留米9小 3~4分、滝山公園 7~8分
- ・すぐ近く 5 分位
- ・5分~10分以内
- ・歩いて 5 分~10 分のところにあるので、心配していない
- ・歩いて 10~15 分
- ・東久留米第9小学校。10 分。
- ・避難場所は小学校 5 分位、但し、大雨、水害の恐れあるときは駄目その際は 10 分以上かかる中学校に指定されている。
- ・自分の家から歩いてどのくらいかかるのか。(3)
- ・避難所まで歩いた時の時間

(災害前の備えをしている)14

・水や食料など備蓄チェック。冷蔵庫から飲料水と食料品を少々持ち出せると思う。家から持っていく物を決めている。

- ・必要最小限の持ち出し。
- ・非常用防災備品(家庭用)の保管場所
- ・自家用車、自宅とも備蓄を準備、適時確認、補充を心がける。
- ・出かける時のバックやリュックも同じ。
- ・はき物は出来るだけ運動しやすいものをはく、等。
- ・部屋に避難用の運動クツを用意してあります
- ・車中泊できるための補助シートなど。
- ・水分と、暑さ寒さの対応して行動する
- ・伝言ダイヤル使い方の確認、持っていくもの、手紙をかくことなど確認
- ・災害用伝言ダイヤル
- ・非常時の連絡手段
- ・水や食料など備蓄チェック
- ・家から持っていく物を決めている
- ・伝言ダイヤル使い方の確認、持っていくもの、手紙を書くことなど確認

(在宅避難を検討している)13

- ・夜間は自宅にとどまる。
- ・風水害、地震とも自宅に帰る。
- ・基本は自宅に集合、できるなら在宅避難をすることを話し合っている。「出来る限り自宅に戻ってきなさい連絡事を書いてはっている・・・」と(いろいろな場所を探すことなく、避難場所として)
- ・地震の時は2012年に平屋に建て替えたので家に居る場合は家の中にとどまる方が良いと思う。
- ・自宅は堅固に造ってあるので相当な地震でない限り避難場所に行く予定はない。火災が発生した場合の避難についてはどうすれば良いのか考慮中である。夫婦とも杖歩行、老齢であり、避難場所までの歩行やそこでの生活は考えられない
- ・団地なので自宅にいる。在宅避難
- ・老夫婦は自宅付近にすることが多いのでとりあえず自宅へ向かう。娘の勤務場所から自宅へ向かう。孫の学校からは先生の指示に従うように言っている。
- ・滝山団地は「自宅にとどまる」(在宅避難)との原則と理解しています
- ・避難場所は近いし、わかっているが、団地の5階で避難が可能かどうかわからないので自宅に留まることになるかと思う。
- ・隣が九小だが、避難の必要はないと思っている。
- ・からだの不自由ですので避難は考えておりません。自宅に留まる方法で行きます。
- ・体の不自由な家族がいるので避難はできない

(家族の安否確認方法を決めている)13

- ・スマホのGPSアプリで居場所それぞれ確認 連絡を取る。
- ・家族の居場所の確認方法
- ・勤務先での災害にあった時、自宅に戻るのは3日間位と考えその時は親戚と協力もする

- ・家族間の連絡方法
- ・東日本の時は新橋～滝山間を歩いて帰宅しているので都内からは帰宅することは可能(家族には集合が遅れると言っている)
- ・その日の家族の予定
- ・マイタイムラインシートを作成して、家族で確認している。
- ・離れて住んでいる両親とラインをしているので確認出来るように伝えてある
- ・避難場所は合わせている程度
- ・お互い出掛けたりしていた場合、第一避難所を待ち合わせ、そこがダメだったら、次にどこで落ち合うかなど、確認しています。
- ・携帯電話で現在の居場所と状況を知らせる。
- ・近くに住む息子家族との連絡が大切と考えている。
- ・家族が離ればなれになった時まず第9小学校に行き、確認する事。

(何を確認するか検討中)3

- ・今現在は特に話し合っていない。どのように確認すれば良いか方法がわかりません。なので、確認方法として「このような方法があります」的なものの案があれば参考に出来ると思います。なお、子どもが小学生(1年、3年)なので、子どもたちにどのように話をしたら良いか分かりません。
- ・家族で確認はしていないが3世帯同居なので昼間は老人2人夫婦は共働き子どもは学校と各々の行動は違うのでいろいろな場面で話し合い中。
- ・資料等は持っているが確認して記憶していない

(安全確保の方法を確認している)2

- ・防災MAPを参考にして行動します。又近所の人とも声かけします。
- ・離れていたらまずは自分の命の確保。

(その他)39

- ・ペットがいる場合どうしたらよいか(2)
- ・気にしていたが、話し合っていないので、機に話し合っておこうと思う
- ・大事なことで時折、妻との会話で確認しあっている。
- ・定期的に確認している
- ・確認しています。
- ・交通状況を確認。
- ・自宅の被害状態 確認。
- ・例に書かれた事が同感。90才過ぎのため、歩行には時間を要するので、うまく避難出来るのか不安。(たまにステッキ使用で歩いている私なので)
- ・避難場所第九小学校の西側の遊歩道は道の舗装がこわれて凹凸がひどく、雨が降れば水たまりだらけとなり老人や子供の避難に適さない。私自身も以前つまずいて膝を痛め、足の先まで内出血で真っ黒な足となり数か月も苦しんだことがある。避難所となるよう早急に舗装しなおす必要があると思う。60年以上手入れを行った形跡がない。
- ・現在は自分自身で歩くことが出来ますが、その時には加齢になり、短い時間でも歩行が不安です。
- ・家から離れた時に被災する場合のこと

- ・障害物の有無(特に倒木の有無)
- ・希望としてドアの内側に貼れるような避難先や必要なものを書いたものがあれば確認しやすい
- ・隣が東久留米第9小学校です。
- ・ラジオ放送、公的情報
- ・市から提供される情報での確認のみ

(特になし)22

- ・なし、特になし(17)
- ・今のところ特になし
- ・一人ですのでありません。
- ・特にない。場所もよくわからない。
- ・特に決めていない。
- ・特にしていない

Q17 「在宅避難」の時に、不安なことがありますか。自由にご記入ください。

(災害発生時に適切な情報が得られるか不安)100

- ・どうすれば災害の情報が手に入るのか(13)
- ・情報の入手(2)
- ・災害情報(4)
- ・災害の情報(3)
- ・どうすれば情報が入るのか。
- ・耳が不自由、インターネット・携帯(スマホ)なし、電話はありますが、聴き取りが難しい
- ・インターネットが使えなくなったらパニックになるだろう
- ・ネット回線
- ・通信環境の確保
- ・インターネット状況
- ・インターネットが繋がっていればパソコンやスマホで情報を得ることが出来るので特に不安はない。
- ・災害の被害状況や復旧状況の情報入手(ネット環境が使えない場合)
- ・スマホを持たない(ガラケーのみ)ので TV・ラジオでの情報が十分得られないのではと不安になる
- ・電気、水道が使えなくなる事。スマホが使えなくなる事。等いつ回復するかの情報が入らなくなる事。
- ・ネット環境がない場合、情報の入手は気になる。
- ・水や電気、ガスのライフラインが途絶えた時、復旧情報(インターネット含む)周囲の方の行動、様子がみえない、声かけ合える距離であればいいが・・・
- ・停電になったらどうするか。TV やスマホで情報が得られない時にはどうするか。外の様子や状況が分かりにくい。情報が入りにくい不安。
- ・テレビ、ラジオ、隣近所の娘夫婦の家族。
- ・ラジオ、テレビの情報
- ・ラジオの状況
- ・ラジオ

- ・TV、PC、ラジオ
- ・携帯電話が通じればそこからわかる。携帯ラジオを持って避難する。
- ・どうすれば情報が手にはいるのか。東久留米のラジオで教えてもらえるのか。
- ・どうすれば？スマホの radiko で聞く。（※radiko:インターネット・スマホでラジオが聞けるアプリ）
- ・情報を手に入れるにはスマホが使えなかったらどうするか
- ・消防署へ TEL、市役所へ TEL
- ・目と耳で周りの情報を調べる
- ・近いところに 9 小、わくわく健康プラザがありますのでネット他で情報がつかめない時は直接聞きに行こうと思います。
- ・最新の情報が受けられるか？HP、Xなど
- ・家族・友人・知り合いの安否
- ・電気が通っていなければ情報が入らないので不安
- ・インフラがストップしている間、交通や医療、家族や知人との連絡、に関する情報を得るにはどうすればよいかは、気になります。
- ・停電などインフラが止まってしまった時状況わからずとり残されてしまう、とか
- ・インフラ等の復旧情報を手に入れたい
- ・風水害や大地震の際、東久留米市内の全体の状況がどうなっているのか、分からない。買い出しに出る際の、道路状況や危険箇所など把握できないまいつも外出している。
- ・情報
- ・情報の入手方法
- ・情報の入手
- ・情報の入手方法は複数用意している。
- ・情報の入手ルート
- ・災害情報の入手方法
- ・必要な情報の入手方法に不安がある。(どこからどのようにどうやって入手するのか?)
- ・例示同様、災害の情報の適時入手
- ・情報が少ない(東久留米市からの情報が遅れるように思う)
- ・情報が少ない
- ・市の連絡網からぬけおちるのではとの不安があります。
- ・キケンになった住宅にひとり取り残されることはないか不安(P.C は持っているがスマートフォンは無し)
- ・在宅の場合、情報が入らないので、困りそう。
- ・確かに情報は詳しく知りたいです
- ・在宅避難時の各種状況の確認方法
- ・現在の状況がどうであるか？
- ・情報手に入り難くなりそうで、不安です。
- ・どうすれば災害の情報が手にはいるのか、これだと思えます。
- ・情報が入ってくるかどうか
- ・支援の情報

- ・災害状況を間違わずに手に入れられるか。
- ・地域の災害情報(状況)を早く知りたい
- ・現状の把握
- ・さまざまな情報の入手ができるかどうか。
- ・災害の情報が手にはいるのか
- ・食料の供給の情報が分かるのか。
- ・災害の状況にもよりますが、情報をどのような手段で分かるのか。
- ・災害情報について知りたい。
- ・災害の情報が平等に手に入るのか。
- ・水、電気、ガスなど使えるか等…情報がちゃんと得られるか不安です
- ・情報の収集についてわかりません。
- ・どうすれば災害の情報が手にはいるのか。これが一番不安です。デマもとびかいますし。→スマートフォンを利用します。充電器を購入する予定です。
- ・学校放送とか市内巡回広報車が時々あるが全く聞こえにくい。ご近所でもそういう意見が多いので、放送を考えてもらいたい。
- ・地域の災害情報はどのようにして入手するのか。緊急時のアナウンスが物理的に良く聞きとれない。(耳が悪いわけではありません)
- ・外に流れるマイクの声が聞き取れない時があるので不安です。
- ・東久留米市全体の被害状況、市の方針、先の見通し等々どうやって情報を入手すればいいのか、孤立が一番怖いと思う。
- ・災害時避難所へ避難するのか在宅避難するべきなのかその情報はどうやって手にはいってどう判断するのか。
- ・嘘の情報が怖いので正確な情報を早く手に入れる様にしたい。
- ・災害の様子が知りたいけどわからない。
- ・連絡の有無
- ・こまめに情報をとれるようにする。講習会があったら参加したい。
- ・現実的に実感していない。が…、在宅中、情報を的確に入手してどのように行動できるか。その手段は？
- ・信頼できる情報源を知りたい。

(食料が確保できるか不安)53

- ・食料、水の確保場所(9)
- ・食料(2)
- ・食料の確保の仕方
- ・食料等備蓄分がなくなった場合どうすれば手に入るのか。
- ・食料品がどこに行けば手にはいるのか。
- ・水や食料の場所を知りたい
- ・情報の入手、水、食料の入手確保
- ・食料品などの確保
- ・飲料水や食料の備蓄が家になくなった時に市から供給されるのか。どこに行けば配給を受けられるのか。

- ・食料、水が得られるか心配。
 - ・救援物資の入手方法
 - ・食料・水の確保方法(支援物資の受け取り方法)
 - ・救援物資の受け取りについて知りたい。
 - ・食料確保も心配である。
 - ・継続的な食料、水の確保。
 - ・飲料水や食料はどこに行けば手にはいるのか
 - ・食料の配給等
 - ・食料、水の確保(どこで手に入るのか)。
 - ・食料と、飲料水が手にはいりにくくなりそうで、不安です。
 - ・支援物資の入手方法はどうするのか
 - ・食料はどういう流途で受け取れるのか？市内、外部そのほかの状況は電気が切れた場合、広報などで知らせてくれるのか？
 - ・支援物品の情報
 - ・食料や水の配給がある場合、どのようにアナウンスされるのか(ネット環境が使えない場合)
 - ・避難所と同様の物資の支援を受けられるか。避難所と同様の情報を得られるか。
 - ・水、食べ物の確保が在宅避難よりも避難所の方が手厚そう
 - ・飲料水、食料など避難が長引いたとき、どうやって手に入れるか(避難場の方が手に入れやすいのではありませんか？)
 - ・食料や飲料水など、避難所と同じように支給があるのか。
 - ・食料・飲料水等を確保しているが、不足した時の補充について心細い
 - ・もし食料が不足した時のこと
 - ・食料・水が無くなった時、配給は受けられるのか。
 - ・食料等は足りるか
 - ・食料の維持
 - ・飲食料の確保
 - ・食料や水、どうやって手に入れるか
 - ・食料が足りるのか不安がある。
 - ・給水作業があると思うが、高齢、足腰の不具合で出来ない。
 - ・災害に備えての備蓄品が大丈夫かなあー。
 - ・災害時のために、何をどのくらい備蓄したらよいかどの位の機関で備蓄物を入れかえたらよいか良くわかりません
 - ・備蓄してある水や食料で在宅避難をのりきれるのか。
 - ・現在食料品の備蓄はしていないので、食べるものが無いのが不安
 - ・電気・水道が止まった場合、復旧の期日。食料品・水の提供をすぐに受けられるのか
 - ・短期の時は対応できるが、長期になった時は不安(食料・水)
 - ・食事や水など食料や生活必需品の不足
- (ライフライン・インフラが断たれた時の不安)27

- ・電気、ガス、水道
- ・水や電気、ガスが確保できていれば自宅が安心である。
- ・電気・水道・ガスが使えるのか。いつから使えるのか。
- ・市等からの情報(ガス・水道・電気等の情報)
- ・もし、途中から、水道などが止まってしまうたりしたら、どうすればよいかなど不安です。
- ・電気、水道、ガス、インターネット等の状況によっては避難をしたい
- ・電気水道の復旧、これを機会にいろいろ確認しようと思いました。
- ・電気、ガス、水道、インフラの確保について、行政の対応が不明。
- ・電気・ガス・とくに水道に問題があったらどうなるのか(古いので)ガラスが割れてしまったら・・・など
- ・ライフラインの確保
- ・電気、水道などのライフラインの確保。
- ・ライフラインの維持
- ・ライフライン
- ・ライフラインのこと
- ・ライフラインの復旧状況
- ・水道、電気の状況
- ・ライフラインの状況確認
- ・電気・ガス・水道の復旧
- ・電気、ガス、電話特に携帯、水道の復旧
- ・水道・ガス・電気がいつ復旧するのか、ガソリンスタンドは使えるのか
- ・電気、水道、ガスの復旧が不安
- ・短期の時は対応できるが、長期になった時は不安ライフラインの状態(電気・ガス)
- ・電気水道が止まった際の入浴等
- ・停電時の対応(ソーラーからの蓄電を利用する予定だが夜間は使用できないので心配)
- ・インフラ
- ・インフラの復旧のこと
- ・インフラの状況はどうするのか？
- ・インフラが大丈夫かどうか。

(医療的なケアが受けられるか、緊急時の体調管理が不安)15

- ・救助や看護など必要がある時の連絡や来てもらえるのか。
- ・配布場所とけが等の手当の場所を知りたい
- ・体調を崩した時の看護について受けられるか心配。
- ・救助が必要な時すぐに来てもらえない(見てもらえない)
- ・取り残されることがないか
- ・在宅していて行政から見落とされぬか。
- ・怪我に病気等、どこへ行けば良いのか？
- ・健康について、病気持病が有るので、薬の確保が心配
- ・けがをした時に対応が、在宅避難よりも避難所の方が手厚そう

- ・常備薬の手配等
- ・薬(処方薬)の確保
- ・体調
- ・感染症の情報、対応を心配している。
- ・在宅避難時救援方法
- ・介護方法

(在宅避難をする建物の安全性が不明)14

- ・ここにいて安全かどうか心配
- ・在宅する家屋の安全が不明。
- ・家がつぶれたりしないか(避難所の方が建物が丈夫そう)
- ・自宅の建物が安全かどうか
- ・古い家なので被害が心配。かえって危ない時もある。
- ・建物(団地)が崩れたり倒れないか心配。
- ・住居の安全性
- ・家の崩壊
- ・自宅が安全かどうか。
- ・団地の場合、建物自体がどうなっているのか判断が難しいので、とりあえず避難所へ集合するしかないと考えている
- ・団地の5階なので、団地がくずれないか心配。近くの団地2階に95歳の母が一人で住んでいるのでとても心配
- ・建物の倒壊
- ・団地の5階なのでどういう状況になるか見当がつかない
- ・特に地震が起こった時が心配です。家が老朽化しておりますので、大きな地震が来たらもう助からないと思われま。耐震工事をしなければならぬと考えますが、お金の面でもむずかしいのが現状です。

(トイレは使えるのか)7

- ・トイレ等
- ・トイレ
- ・トイレの水
- ・トイレ使用
- ・トイレ、お風呂はどうしたら良いか。
- ・水(水洗)等が使用不能となった時にどうするか？
- ・トイレなど応急的なものはあるか？心配

(その他)24

- ・日頃 親しい人と連絡し合う
- ・家族が都心に勤めているので新青梅街道をひたすら歩いて帰る。その途中での連絡がきちんと出来るか心配。東日本大震災の時は電車が動くまでいつもの飲み屋にいたそうですが…家族が増えたり外出時に何が何でも自宅まで帰って来て欲しいので、やっぱり情報と連絡です。近所の独り暮らしの方とも声をかけ合って助け合いたいです。

- ・一人では不安なこともあるので近所の方達と情報を共有して待機したい
- ・みんなどうしているのか気になる。
- ・近所の人達との協力、助け合いがあると思うのであまり不安はないと思う
- ・不安は住民全体の事で、個人は特になし
- ・どうにかなりそう。近所の人と情報交換したら。電気が止まったら・・・そうとう困るわなあ～
- ・近所の様子
- ・息子たちがきてくれるか？
- ・避難場所での互の連絡の伝達
- ・近所の人々と話し合う。
- ・ご迷惑を掛けない様に怪我しない様に注意しないと情報もいただけない。
- ・避難せずに居て、生命の安全はどのように守られるのか
- ・東久留米市役所が「たよりになるか」本当に不安。
- ・在宅中に、大ゆれがおきたら、不安
- ・火災など発生すると逃げなければならず、風向きで逃げるところを選ばなければならないなど課題は多々ある。
- ・どのような支援をしていただけるのか
- ・多分、携帯の充電をしなくなると思うので太陽電池のものを買おうか・・・もしくはそういうスポットが白山公園とか滝山公園とか学校とかにあればいいのにな。と思っている。
- ・ペットはどうしたらよいか？
- ・いつまで続くか
- ・ガソリンの不足
- ・全て不安
- ・Q14、回答
- ・●●について稼働しているか。

Q19 東久留米市社会へご意見ご要望があれば、ご自由にご記入ください。

(東久留米市社協へのご要望)11

- ・行政の手の届かない具体的な施策をするのが社協かと思いますが、行政に期待するのと同様に、社協にも、市民に働きかけて市民協働で、更に大きな仕事をしていただきたいと思います。
- ・社協の主な活動は福祉関係の支援が主な活動だと思っていたので、防災・減災にも活動の範囲を含むことを心強く思いました。災害時の主役は住民自身であることは認識しつつ行政と一体となって支援の活動をお願いしたいと思います。
- ・引きこもり児童、生徒、不登校児、生徒への対応、障害者への対応等、巾広い支援に、退職者、高令者の参加を促すしくみを整えていただきたい。
- ・今は、社会人としてひとまず生活できているので大丈夫ですが、いざとなった時はよろしく願います。
- ・一人暮らしの高齢者への支援を、普段から考えていただけると助かります。
- ・福祉協議会の存在は漠然としたものでもっと何をしている事業なのかが知りたいと思う。地域のことを発信して参加できるよう願います
- ・1人住まいの人間に対する対応が気になります。

・地域での協力が促されるよう情報共有をお願いしたい。また、高齢の方にやさしいサポート態勢を確立できたら良いと思います。よろしくお願い致します。

・数年後に定年退職となるのでボランティアすることを考えています。わくわく(健康プラザ)に行く時もあるのでチラシをいただきたい。

・災害が起これば市の職員も被災します。もしもの際には、公的機関を頼りにせず自助のつもりで日頃から備える事が大切とっております。協議会におかれましてはぜひそのような啓蒙活動を広めて頂きたいと願っております。今回のアンケートのような現況調査、大変有意義と存じます。

・要介護以外の健康なお年寄りの集う施設などを作ってほしい。あじさい公園と九小の間の横断歩道の所に強い雨が降ると水が氾濫する

(東久留米社協へのご意見)10

・具体的な事業内容を知りたい

・社会福祉協議会とはどんな仕事する所ですか。ボランティア活動だけですか

・福祉があまり進んでいない

・何か催しがある時、幅広く宣伝していただきたい。市の広報など注意しているつもりだが、何せ年を取ってだんだん情報が入りにくくなったと感じています。近いので時々散歩がてら寄って見て掲示板など見えますが…。

・ひがしくるめ社協だよりを読んでいるが紙面の内容を検討してほしい

・インターネットを活用してください。

・会員区分と会費額の記載がありますが？これは何ですか？会員とは？正会員、特別会員

・各種養成、講座、研修のあることを前に知っておきたかった。

・近辺で社会福祉協議会の運動をしている人が誰かわからない(滝山3丁目)。

・市報と一緒に立派な「たより」が配布されていると思うが、あまり身近に感じたことはありませんでした。予算や運営費もどこから出ている団体なのか。誰が運営しているかも知りませんでした。市役所の仕事との区別も分かりませんでした(今も少し分からない)。包括センターとの介護福祉の関係も分かりません(でした)。まだよくわかりませんが、このアンケートをして反省しております。ごくろう様でした。

(災害に対する考え、備え、提案)9

・はっきり言って、社協さんに期待するのは、(組織的に見て)失礼でしょう。東京圏 2000 万人！！自助、自助、自助、自助…！！(これに尽きるのでは)

・高齢者ばかりで市の方々も大変ですが、災害のとき見廻りしていただくとうれしいです。

・防災パンフレットの配布、防災訓練の実施、防災用品の一部を配布又は安価で販売、住民以外の人でも受け入れ出来る体制、病気の人への配慮、外国人への配慮

・ボランティアだけでは限界がきます。予算化して民間企業の力を借りるべき。

・災害時等の備品の入●斡旋など機会を作ってほしい。

・居住者に救助バッグを配布してほしい。

・転入時、市から防災セットを各家庭に配るということをして欲しい。※すでに住んでいる住人にも(初回は全世帯)。@どの家庭にも同じ防災グッズがあるということは安心ですし、お互いに理解できているので特に他の人への配慮も考えすぎなくてすむ。平等の対策ができる。

・災害が起きる前の準備がとても大切だと思うので、自治会は機能が難しいので学校毎にまとめて行って欲しい

(これからに対する不安)4

・現在はまだ健康であるが、年齢的にいつ動けなくなるのかなどわからないことは多い。自力で動ける時の

努力と人を頼らなくてはならない年齢になった時の不安は大きいです。

・不安をひきおこすのであまり考えたくないが必要なことは少しでもしておきたい！

・災害が起こらないことを願うばかりです

・入居して 50 年余になるが予想通り災害に無縁であった。住居から出火することはまずない。近隣からの延焼も考える必要がない。この建物がこわれるような地震はまず考えておく必要がない。強い台風(●型は富士と箱根がガードしているので、直来がない)も恐れることはない。大阪でジェーンと第二室戸直来の経験がある。入居 50 年余、災害にあわなかった。昭和 40 年代にはかならずあった梅雨明けごろの落雷による停電もこの 50 年ないようだ。近隣の火事も入居したてのころの山崎パンの火事以来あったことがない。

(生活・市の福祉サービスのこと)2

・災害の放送が聞こえてこないのが不安な時があります。

・ここの地域の自治会がなく遊歩道が暗く、草や木がしげっていてキケンを感じる事もある。ぜひ、安全な道になるよう花植えや光を増やすなど考えてほしい。

(地域への思い、ご近所関係のこと) 2

・以前の東日本大震災時は子ども達も小さく、社宅の集合住宅に住んでいた際は、住民同士連絡を取って、状況を情報交換し、声をかけ合って避難していた記憶がありましたが、個宅になり 10 年住んでもほとんど周りの人と会う事が少なく、声をかけにくい地域の状況だが、周囲に 1 人暮らしの高齢者の方も多いので、大地震のときは 若い人から声をかけ動けるような地域社会であることが望ましいと思う。

・近所つき合いのキッカケがなくあまり知らない方々が多い。

(その他)27

・よくわからない。

・单身暮らし。何の連絡も、横のつながりもないので、分からない。

・これからも地域の為に頑張ってください。

・特別ありませんがこのようなアンケートは有難いと思っております。宜しくお願い致します。

・いつもありがとうございます。

・御活動有難うございます。

・おつか様です。ありがとうございます。

・いつもありがとうございます。

・毎年年会費を収めています。東久留米市社会福祉協議会より出されるおたよりを楽しみに読んでいます。

・社会的弱者に寄り添った活動は大変だと思います。

・約6年前に他県から引っ越してきました。今回のアンケートによって、社協の場所がわくわく(健康プラザ)にあるという事を知れたし、どういった活動をされているのか知ることが出来て良かったです。

・いつもありがとうございます。情報を沢山出していただけて助かっております。

・事業案内をみて、今は何も頼る事はありませんが、いろいろな助けがあり、ありがたいなと思いました。

・よろしく申し上げます

・大変な仕事だと思いますが「安心して心豊かに暮らせる地域づくり」よろしく申し上げます。

・ご多忙の事と思いますが、東久留米が私共、夫婦又二人の子供の生地であり教育、文化に助けられ成長しましたので大切な東久留米市 よろしくお願い致します。

・日頃から、対応御検討ありがとうございます。宜しくお願い致します。

・民生委員の方に協力してくださいとお話しあり年間 1000 円。かれこれ 20 年以上になりますが実際のところどのような活動をなさっているのか又、自分にどのように関係をもっているのか分からないでいました。目を向けたいと思いました。

- ・正会員として長年協力しております。
- ・種々の支援活動御苦勞様です。いずれ私もお世話になる事と思います。よろしく。
- ・お世話になります。よろしく御願ひ致します。
- ・少ない年金の中から高額支払いをしている NHK が QR コードを読み取らない人には詳しい情報が得られないのはいかなものか。年金生活者には NHK 料金及び JR 料金が安くなるように働きかけてほしい。
- ・老々介護の統計に注目下さい。
- ・Q18で「参加は考えていない」と答えましたが必要があれば参加したいと思います。子供が小さいうちはやはり家族優先となってしまうので…
- ・子供から手がはなれたら自分に出来そうなボランティアがあったら参加させてほしいと思いました。
- ・こういうアンケートを書くことで一度、防災等考えるいい機会でした
- ・この様なアンケートはパソコン(Webサイト)からも回答できるようにした方が良好。スマホ、手書きだけでは問題と考えます。

※集計の際正しく読み取れなかった文字は●で表しています。